精神科リエゾンチーム
Psychiatric Liaison Team

医師、看護師、公認心理師等のそれぞれの専門性を活かしたチーム医療を提供しています。

チームの概要

2021 年春、精神科リエゾンチームを立ち上げました。当チームでは、入院中の患者さんを対象に精神疾患や心の不調（せん妄、不安、抑うつ、不眠など）に対する相談に応じ、身体的治療がスムーズに進められるよう支援しています。

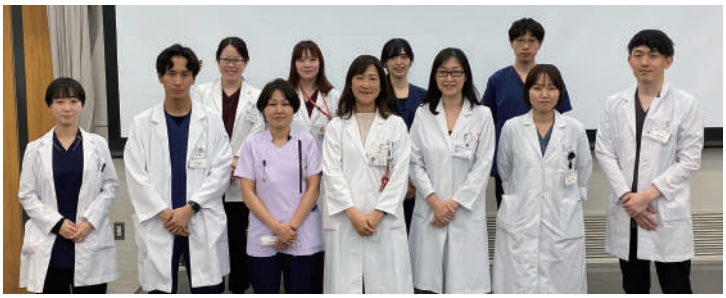
チームの役割・活動内容

2023 年度からの取り組みとして、医療の質・安全管理部、薬剤部等関連部門と協議し、【睡眠薬の適正使用に関する院内推奨】【過活動型せん妄に対する初期薬剤選択フロー】を作成し治療の標準化を図っています。

他にも、救急医療、周産期メンタルヘルス、緩和ケア、意思決定支援など、総合病院精神科で求められる課題へ多職種で対応しています。

多職種連携

精神科医（9 名）、精神看護専門看護師（1 名）、公認心理師（1 名）



褥瘡対策チーム（褥瘡委員会）
Pressure Ulcer Care Team

詳細はこちら

院内褥瘡発生ゼロ・褥瘡の治癒率向上を目指して

チームの概要

当院では、2002 年に褥瘡の予防と早期治癒を目指して、褥瘡対策チームが設置されました。褥瘡は、個体要因や環境・ケア要因などが重なり合い生じるため、多職種で回診を行い、多角的視点から検討し、褥瘡対策に取り組んでいます。

チームの役割・活動内容

当院では全患者さんに褥瘡リスク評価を行い、必要時には褥瘡専任医師と専任看護師が中心となり、薬剤師･管理栄養士と協力し患者個々に応じた褥瘡対策診療計画書を作成しています。さらに医師･看護師･薬剤師･管理栄養士･理学療法士が週 1 回の褥瘡チーム回診とカンファレンスで治療やケア内容を検討し提案します。職員研修や体圧分散寝具の整備も行い、多職種で質の高い褥瘡予防とケアを実施しています。



多職種連携

褥瘡専任医師、褥瘡専任看護師、皮膚･排泄ケア認定看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、臨床工学技士、臨床検査技師、事務職員等